

(別紙)

ぎふ建設人材育成リーディング企業【建設関連業者】 認定指標取組内容

企業名	* *コンサルタント(株)	担当者	岐阜 太郎	TEL	***-***-****	FAX	***-***-****	e-mail	e-mai@email.com
-----	---------------	-----	-------	-----	--------------	-----	--------------	--------	-----------------

申請書類(チェックリスト)
申請した項目について、確認書類の
どの部分が根拠となっているのか記
載する。

評価区分	評価項目	達成度	取組内容	申請欄 ※該当箇所○	審査者採点欄 ※申請者は記入しない	確認書類(チェックリスト) ※確認書類のどの部分が根拠となるのかチェックを入れ記載すること
I 労働環境の整備・処遇の改善	1 休日・休暇	達成度1又は2	4週8休体制又は年間休日数104日以上を設けているか ※直近の一年分とする	○		■年間休日カレンダーの写し(休日:***日)
			法定外の特別有給制度を2つ以上設けているか 休暇名① 誕生日休暇 休暇名② 慶弔休暇 ※1:年次有給休暇利用のもの、前項の年間休日数に含めているものは除く ※2:就業規則等に「有給である」と明記されていることが必要 ※3:結婚出産、葬式等は「慶弔休暇」として一括りとする ※4:子の看護休暇、介護休暇といった法定休暇は有給のみ対象	○		休暇名① いずれかにチェック (注:各確認書類については、何年何月何日現在のものであるか明記されているもの(以下同様)) ■就業規則(7 ページ 第 14 条 第 3 項) □賃金規定(ページ 第 条 第 項) □社内規定(ページ) □社内通知 休暇名② いずれかにチェック ■就業規則(7 ページ 第 14 条 第 2 項) □賃金規定(ページ 第 条 第 項) □社内規定(ページ) □社内通知
		達成度3	完全週休2日制(土・日・祝休み)を設けているか ※土曜・日曜・祝日のすべてが休日であることが必要			
		I-1 休日・休暇 小計(自己採点に使用してください)		2		
	2 所定外労働時間	達成度1	過去1年間の社員(建設業従事者)1人当たりの1カ月の平均所定外労働時間が20時間以下であるか	○		■別紙計算シート
		達成度2	過去1年間の社員(建設業従事者)1人当たりの1カ月の平均所定外労働時間が15時間以下であるか	○		■別紙計算シート
		達成度3	過去1年間の社員(建設業従事者)1人当たりの1カ月の平均所定外労働時間が10時間以下であるか			□別紙計算シート
		※社員(建設業従事者)…建設業の部署に在籍する事務職及び技術職を指す(役員及び外国人実習生を含めない)				
		所定外労働時間: 13.5 時間/月(小数第2位を切捨てて第1位まで記入) 算出期間: 令和6年7月～令和7年6月 ※直近の一年分とする				
		I-2 所定外労働時間 小計(自己採点に使用してください)		2		
	3 給与・福利厚生 の充実	達成度1又は2	社員に対し、年2回以上賞与を支給することとしているか 賞与支給月 7 月 12 月 ※1:就業規則等に、年2回支給することと、支給月が明記されていることが必要 ※2:社員…役員及び外国人実習生を除いた事務職及び技術職のこと	○		いずれかにチェック □就業規則(ページ 第 条 第 項) ■賃金規定(4 ページ 第 21 条 第 項) □社内規定(ページ) □社内通知
			法定外の福利厚生制度を3つ以上設けているか 制度名① 慶弔見舞金支給規定 制度名② インフルエンザ予防接種代金支給制度 制度名③ レクリエーション費用支給規定	○		制度名① いずれかにチェック □就業規則(ページ 第 条 第 項) □賃金規定(ページ 第 条 第 項) ■社内規定(3 ページ) □社内通知

評価項目ごとの小計欄に自己採点による得点を入れてください。

達成している項目について全て○をつけてください。
(例の場合)
所定外労働時間の平均:13.5時間
→達成度1及び達成度2を満たしている。

※:達成度2については、達成度1を、達成度3については達成度1及び2を達成していなければ加点されません。

Ⅱ 将来の建設産業を担う人材の確保・育成	Ⅱ-1 若者・女性の雇用 小計(自己採点に使用してください)		3			
	2 社員のスキルアップに対する支援	達成度1又は2	過去1年間において、社員(建設業従事者)の3割以上を、業務に必要な研修等に参加させた(業務として派遣したものに限る) (ア)研修等受講者数(実人数) 25 人 (イ)現在会社に在籍している社員数(建設業従事者数) 60 人 (ア)÷(イ)×100= 41.7 % ※1:小数第2位を切り捨てて第1位まで記入する ※2:社員(建設業従事者)…建設業の部署に在籍する事務職及び技術職を指す(役員及び外国人実習生を含めない) ※3:1人の社員が複数の研修に参加している場合でも、(ア)の研修等受講者数は1人と数える。	○		(注:下記①②いずれも) ① ■研修等の名称及び社員の受講を確認できるもの(受講証明書、受講者名簿等)(注:研修先作成のもの) ② ■役職名が記載された社員名簿
			資格試験の受験費用や資格取得のための講座受験費用等を助成する仕組みがある ※就業規則等に明記されていることが必要	○		いずれかにチェック ■就業規則(12 ページ 第 31 条 第 項) □賃金規定(ページ 第 条 第 項) □社内規定(ページ) □社内通知
		達成度3	資格取得状況に応じ、給与等の処遇に反映させることとしている ※1:就業規則等に明記されていることが必要 ※2:受験費用等の経費のみを支給する手当等は除く	○		いずれかにチェック ■就業規則(12 ページ 第 33 条 第 項) □賃金規定(ページ 第 条 第 項) □社内規定(ページ) □社内通知
	Ⅱ-2 社員のスキルアップに対する支援 小計(自己採点に使用してください)		3			
評価区分 Ⅱ 将来の建設産業を担う人材の確保・育成 合計(Ⅱ-1、Ⅱ-2合計)(自己採点に使用してください)			6			
Ⅲ 魅力ある建設現場等の環境づくり	1 生産性の向上に対する取組み	達成度1	過去3年間において、ICT、BIM/CIM、業務効率化に関する知識の習得のため、セミナー、研修等に参加した。 研修名 実施日 ※1:「Ⅱ-2 社員のスキルアップに対する支援」で申請された研修との重複を認める ※2:役員が研修に参加した場合も認める			(注:下記①②いずれも) ① □研修等の名称及び社員の受講を確認できるもの(受講証明書、受講者名簿等)(注:研修先作成のもの) ② □役職名が記載された社員名簿
		達成度2	過去3年間において、自社でICT機器、BIM/CIM及び業務効率化に関するシステムやソフト等を導入し、活用に向け社内研修を実施している。 導入したICT機器、BIM/CIM及びシステムやソフト等 * * *システム 社内研修実施日 令和6年10月12日 ※業務効率化に関するシステムやソフトの例:テレビ会議システム(発注者も参加できる端末があるもの)、各種補償算定システム、3次元地盤モデル作成ソフト等	○		(注:下記①②いずれも) ① ■ICT機器、BIM/CIM、業務効率化に関するシステムやソフトの導入を確認できる納品書等の書類 ② ■社内研修実施日、研修内容を確認できる書類
			達成度3			
		【参考】ICT機器等の例 ドローン、3次元LS、TS、MMS、ステレオ写真測量、間隙水圧測定を伴う動的貫入試験等				

下記の達成度が未達成の場合は加点されません。
この場合、達成度1の項目を達成することが必要です。

※：達成度2については、達成度1を、達成度3については達成度1及び2を達成していなければ加点されません。

Ⅲ 魅力ある建設現場等の環境づくり	2 多様な働き方制度	Ⅲ-1 生産性の向上に対する取組み 小計(自己採点に使用してください)			0												
		達成度1	時短勤務やフレックス勤務等の多様な働き方制度を1つ設けている			○				いずれかにチェック □就業規則 (_____ ページ 第 _____ 条 第 _____ 項) □賃金規定 (_____ ページ 第 _____ 条 第 _____ 項) □社内規定 (_____ ページ) □社内通知							
		達成度2	時短勤務やフレックス勤務等の多様な働き方制度を2つ設けている			○											
		達成度3	時短勤務やフレックス勤務等の多様な働き方制度を3つ以上設けている			○											
		制度名	時差出勤制度		制度名	朝方勤務制度											
		制度名	時短勤務制度		制度名												
	(例):地域限定勤務社員、時差出勤、朝方勤務、時短勤務、フレックスタイム、在宅勤務、サテライトオフィス、テレワーク、子連れ入社制度等																
	Ⅲ-2 多様な働き方制度 小計(自己採点に使用してください)			3													
	3 建設産業の魅力発信	達成度1又は2	過去1年間に、これからの建設業を担う若者等に、建設業の魅力を伝えるため、現場見学会やインターンシップ等を行った実績があるか。							※「実施日」「受け入れ対象者」「実施内容」の3点が確認できることが必要 ○出前授業(注:下記①②いずれも) ① ■日時、内容が明記されたもの(依頼文、案内文等) ② ■実施したことが分かるもの(報告書、写真等) ○中学生の職場体験(注:下記①②いずれも) ① ■日時、内容が明記されたもの(依頼文、案内文等) ② ■実施したことが分かるもの(報告書、写真等) ○高校生等のインターンシップ(注:下記①②いずれも) ① □日時、内容が明記されたもの(依頼文、案内文等) ② □実施したことが分かるもの(報告書、写真等)							
		達成度1	達成度1…以下のいずれか1つ実施										○				
達成度2		達成度2…以下のいずれか2つ以上実施			○												
		○出前授業															
		実施日	令和6年10月12日	場所	**高校 体育館												
		対象者	**高校**科2年生														
	○中学生の職場体験																
	実施期間	令和7年5月12日	場所	本社社内													
○高校生等のインターンシップ																	
実施日		場所															
	対象者																
達成度3	過去1年間において、その他、建設業の魅力発信について、他の模範となるようなオリジナルな取り組み、情報発信等を実施している。													□オリジナルの取り組み内容が分かる資料			
	○オリジナルな取り組み内容																
	【オリジナルな取組例】 ・代表取締役が大学で講師として地元建設業の魅力について講演を行った ・学生を対象にした建設業の仕事紹介及び会社見学会を行った																
Ⅲ-3 建設業の魅力発信 小計(自己採点に使用してください)			2														
評価区分 Ⅲ 魅力ある建設現場等の環境づくり 合計(Ⅲ-1、Ⅲ-2、Ⅲ-3合計)(自己採点に使用してください)					5												

自己採点欄	評価区分Ⅰ(小計)	7	点	評価区分Ⅱ(小計)	6	点	評価区分Ⅲ(小計)	5	点	総合計(評価区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの合計)	18	点
採点者採点欄	評価区分Ⅰ(小計)		点	評価区分Ⅱ(小計)		点	評価区分Ⅲ(小計)		点	総合計(評価区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの合計)		点

本書に記載した事項は、事実と相違ないことを証明します。

令和 7年 8月 1日
企業名 **コンサルタント(株)
代表者名 岐阜 太朗



※：達成度2については、達成度1を、達成度3については達成度1及び2を達成していなければ加点されません。